

**日本骨髄バンクの現状（2002年11月末）詳細は別添一覧を参照下さい。**

	前月	当月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,486	1,772	162,330	201,892
患者登録者数	157	144	1,958	13,490
骨髄移植例数	61	70	-	4,530

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。

**① 今月は推進月間。全国一斉に登録会、160回が予定されています！**

12月は、骨髄バンク推進月間です。全国各地で「全国一斉ドナー登録会」が実施・計画されています。今月の登録会は160回（献血併行104回、集団56回）が予定され、2145人（献血併行1150人、集団995人）のドナー登録が見込まれています。登録会の準備開催にご尽力を下さいました関係者の皆様に心からお礼を申し上げます。また、今後の登録会におかれましても、防寒などに留意され、ご参加をお願いします。東京都内では、学生のクリスマス献血との併行登録会が実施できることになりました。学生献血協議会は全国組織であり、全国展開の足がかりとなることが期待されます。また、行政の持ち枠でマスコミを利用した登録会告知スポットや広報紙での啓発、継続的に取材をしていただいているマスコミの協力者による記事の掲載をはじめ、登録会併催イベントなど、多彩な広報活動が事務局へ寄せられています。全国の関係者の皆様とともに、目標に向かいまい進中です。

**② 11月の登録会、依然として、ドナー登録者数は前年割れ。**

11月のドナー登録者数は1772人で、取消者数は447人、実質増加数は1325人でした。登録会回数は97回（献血併行66回・集団31回）で850人（献血併行430人、集団420人）にご登録いただきました。推進月間を控えた時期においても登録会開催にご尽力いただきました皆様に感謝申し上げます。しかしながら、登録者数は連続5カ月間前年同月を下回り、依然として今年度の目標達成が危ぶまれています。前年同月との比較では、回数では136.6%（献血併行194.1%、集団登録83.8%）、登録者数では85.3%（献血併行131.9%、集団登録70.1%）でした。今年度累計では、献血併行は前年度比が約134.1%ですが、集団登録では約78.7%と低調で、登録会全体としては約106.5%と前年並みに後退しています。一方、固定窓口は約78.3%と低迷が続いており、全体では前年の90.1%という結果となっています。都道府県別では、東京、愛知、富山10回、京都、石川7回、長野6回、新潟5回、福島、大阪、沖縄4回、栃木、和歌山3回、宮城、埼玉、兵庫、山口、徳島、福岡、大分、鹿児島2回、北海道、秋田、群馬、茨城、岐阜、奈良、広島、島根がそれぞれ1回開催されました。今年1年間、登録会開催にあたり、ご協力をいただいた各地の皆様にご心からお礼申し上げます。

### 3 臨時理事会、臨時評議員会が開催されました。

11月26日(火)、当財団臨時理事会、臨時評議員会が廣瀬第2ビル(東京・千代田区)において開催されました。今回は財務・運営特別委員会の答申を受け、「常任理事会の設置」と「患者負担金デポジット制」が重要な審議事項でした。常任理事会に関しては、設置することとその機能、形態の骨子が第1号議案により理事会で承認され、評議員会でも同意されました。しかし、その寄附行為の規程化の条文・文言は評議員会で不同意となり、提案された意見を反映し原案を練り直し、次回理事会・評議員会で再審議することになりました。患者負担金デポジット制は、財務・運営特別委員会から導入案が答申されましたが、社会的にも大きな議論となっている案件であり、十分な議論が必要と考えられるため、制度の導入ではなく、デポジット制度自体に関する考え方が議論されました。理事会では導入の是非を今決めることは時期尚早とされ、今後も継続審議されることとなりました。

### 4 第13回、第14回「造血細胞移植委員会」報告

第13回(11月22日)、第14回(12月13日)の上記委員会において、造血細胞移植(臍帯血、骨髄、末梢血幹細胞)の現状と今後について論議されました。骨髄のバンクのドナー登録推進について、各機関の役割分担の明確化と各地の温度差を解消する具体策が必要とされました。末梢血幹細胞移植では非血縁ドナーを、当財団が仲介斡旋する方針が基本的に了承されました。今後、実施にあたっての具体的な問題点を明らかにし、当財団の関連委員会での審議検討、造血細胞移植委員会、行政担当と調整を行うこととなります。

### 5 患者さんへのコーディネート状況説明を開始します。

当財団では、患者さんの具体的なコーディネート状況を毎週土曜日(ドナーがいない場合は月に一度)、主治医へ報告しておりますが、2003年1月14日より、患者さんとそのご家族に対し、電話の問合せがあれば、お知らせすることになりました。お問合せ先は 骨髄移植推進財団「患者問い合わせ窓口」電話：03-3296-8699。患者さんご本人かご家族であることをお名前・生年月日(必須)、ID(必須)、登録施設名(登録責任医師名)をご提示いただくことで確認させていただき、問い合わせ時点でのコーディネート進行状況をお知らせします。この説明は、医師への報告とのタイムラグによる相違があることや、ドナーコーディネート終了(中止)理由はお知らせしないなどの点がありますことを、ご承知おきください。

## 6 ドナー適格性基準が変更になります。

当財団では、ドナーの方の健康と安全を最優先する観点から、コーディネート、採取での「ドナー適格性判定基準」というガイドラインを設けています。この度、過去の事例をもとに現行基準の全面見直しを行い、2003年1月から改訂することとなりました。ドナー登録時とコーディネート開始時では、時間的な開きもあり、登録条件では問われない基準で不適格となる場合や、新基準にそって、ご提供前の健康診断以外に健康状態の再確認を実施する場合があります。これらは、ドナーの方の安全を考えての実施ですが、ひいては患者さんの安全にも繋がります。ご了承のほどお願いいたします。

## 7 医師向けページが開設しました。

登録責任医師の皆様を主な対象として、患者さんのコーディネートに役立つ情報をお届けするため、当財団ホームページ上に「医師のページ」を開設しました。「コーディネート関連書式集」では、登録申請書や各種帳票の出力が、「HLA照合サービス」ではHLA適合の潜在ドナー数を検索できるなど、登録から移植まで、より迅速に、より理解を深めたコーディネートを進めるため、有効にご活用下さい。今後も、内容を随時充実させていく予定です。なお、このページはどなたでもご覧いただくことが可能です。( <http://www.jmdp.or.jp/pt/index.html> )

## 8 推進月間特別番組のご案内

今月は推進月間にあわせ、テレビ、ラジオの特別番組や新聞による企画記事の掲載が各地で実施されています。12月22日(日)には、16時～17時15分、テレビ東京系(テレビ北海道、テレビ東京、テレビ愛知、テレビ大阪、テレビ岡山、テレビ九州、BSジャパン)で、「命の時間の贈り物 - 白血病を救う心優しい人たち - 」が放送されます。この番組では、患者さん、ドナーさん、医療スタッフ、ボランティアの皆様がそれぞれの立場で描かれています。米国取材では、フィルター紙への採血による登録会の様子や、対面された患者さんとドナーさんへのインタビューもあり、患者さん中心だけの番組が多い中、多岐にわたる興味深い作品となっています。その他にも、各局で特別番組やスポットなどが制作されていますが、視聴者がドナー登録をするためのきっかけとなることを期待しています。

## 9 当財団各委員会、開催予定

各委員会開催予定は下記のとおりです。公開委員会の傍聴をご希望の方は事前に財団事務局までお問い合わせのうえ、お申込みくださいますようお願いいたします。

HLA小委員会・・・12/21 10:30～12:00 公開予定

企画管理委員会・・・12/21 13:00～16:00 公開(一部非公開)

## 10 おしらせ

当財団への問合せが減少しています。各団体や企業、サークル等の機関紙にドナー登録問い合わせ電話「財団フリーダイヤル0120-445-445」と

「財団ホームページアドレス<http://www.jmdp.or.jp/>」の掲載をお願いします。

## 国際協力事業の状況( )、HLA照合サービス状況期間

日本 米国	
米国 日本	
日本 台湾	
台湾 日本	
日本 韓国	
韓国 日本	
その他の国 日本	

## お知らせ